

平成29年度 学校評価報告書

学校名 (豊岡市立日高小学校) 校長名 (中川 明 印)

1 学校教育目標

「自ら学ぶ子、学び合う子」
～肯定的なかかわりの中で～

2 学校教育推進の視点

○「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の育成 ○保幼小連携教育・小中一貫教育の推進
○特色ある学校づくり ○家庭、地域に開かれた安全な学校づくり

3 総合的な自己評価

仮説を立てた研究授業を計画通り実施し、成果を確実に次の授業につなぐ取組を進めることができた。児童に寄り添った教育を進めているが、さらに深い児童理解が必要である。小中一貫のよりよい形を更に模索する必要がある。

4 自己評価結果 (A:達成している B:概ね達成している C:あまり達成していない D:達成していない)

領域	評価の観点	評価項目	達成状況	課題を踏まえた改善の方策	自己評価の妥当性
教育課程	・ 確かな学力を身に付ける学習指導	・ 相手を意識して伝える力、相手を肯定的に受け入れた上で聴く力 反応を返す力を意識した授業の展開・工夫	B	○共感的に聴き、想いを返せる効果的な場面の設定 ○状況に応じたペアやグループ活動の充実・工夫	1 地域と連携した特色ある教育活動 ・土曜チャレンジ事業については、豊岡商工会等地域の力を借りた活動となっており、充実している。幅広い児童の参加を望む。 2 確かな学力の定着と個性や能力を伸ばす教育の推進 ・保護者アンケートからは、ABが多い結果が分かる。学力テスト結果からも充実していると思われる。 ・本校はかなりの割合の児童が放課後児童クラブに通っている。そこでの学習等過ごし方についても学校と連携して充実させる必要があると感じる。 3 読書活動の充実 ・学校の評価と家庭の評価に食い違いがある。チャレンジ50の取組は充実しているが、家庭読書、学力につながるような取組を期待する。 4 安全教育 ・踏切安全教室実施の経緯を聞いたが、今後も継続して児童に呼びかける必要を感じる。置石事案に繋がらないためにもお願いしたい。 ・SNSのルール決め方6原則に関して、実際に子どもたちのスキルが大人の想像を超えていることに驚いた。今後も家庭・地域で守っていく必要があると感じた。 5 その他 ・保護者アンケートを記名でとるか無記名でとるか、どちらもメリットでメリットがある。状況に応じ判断すべきである。
	・ 道徳教育	・ 心豊かな児童育成を目指した授業、兵庫版道徳教育副読本の活用 ・ 道徳の教科化への準備	B	○教科担任、少人数担当の報告・連絡・相談の充実 ○道徳授業の保護者への公開	
	・ 英語遊び・外国語活動・英語科	・ 指導内容・事例集の共有・H30年度からの実施に向けての準備	B	○ALTとの連携	
	・ 総合的な学習の時間	・ 自らの課題追求、体験的活動の充実、コミュニケーション力	B	○地域に学ぶ体験活動の充実	
	・ 特別活動	・ わくわく活動、校外児童会、話し合い活動の充実	B	○学級会での話し合い活動の充実	
学校運営	・ 開かれた学校づくり	・ 情報発信、オープンスクール、授業参観、懇談会	B	○HP作成分担の工夫と充実	
	・ 勤務時間の適正化	・ 定時退勤日、ICT化による事務処理の効率化	C	○授業参観・懇談会の工夫・行事のあり方の工夫	
	・ 引継ぎ連携システムの強化	・ 東中学校区小中一貫の取組、保幼小連携の取組	B	○ポスター掲示による意識改革 PTA案内文書のメール配信 職員会議ペーパーレス化	
	・ 生徒指導 (いじめや不登校の問題を含む)	・ 「心の教育」、アセスの活用、わくわくひとり立ち、自立する子 ・ 児童理解・未然防止・早期発見・早期対応 対応マニュアル研修	B	○育てたい児童・生徒像をふまえた小中一貫、保幼小連携強化	
	・ 職員研修の推進	・ 校内研修会、対外研修の伝達・充実	B	○アセス調査資料の有効活用による児童理解の充実	
・ 危機管理体制の整備	・ 校内や遊具の安全点検、通学路・危険箇所点検、整備	B	○同僚性をいかした研修の充実 オープンクラスルーム実施 ○危機管理意識の高揚		
課題教育	・ ふるさと教育	・ 地域人材・地域教材の活用・市のカリキュラムの実施	A	○関係機関との連携	
	・ コミュニケーション教育	・ 授業実践と振り返り、先進校視察	C	○土曜チャレンジ学習の充実による地域との連携	
	・ キャリア教育	・ 年間指導計画の作成、実践内容の充実、キャリアノートの活用	B	○コミュニケーション教育の校内研修の充実	
	・ 体験活動	・ 自然学校、社会見学、地域の教育資源や人材の活用	A	○発達段階にあわせたキャリア教育の実践 (日高高校との交流等)	
	・ 人権教育	・ 「ほほえみ」の活用、心の広場、学級経営、ポスター標語応募	B	○地域と連携した防災訓練	
	・ 特別支援教育	・ 教育相談活動、特別支援教育研修	B	○栽培活動・環境教育の充実	
	・ 環境教育	・ 環境体験事業、もくもく掃除の徹底	B	○読書記録の有効な活用、朝読書の時間のさらなる活性化	
	・ 安全教育・防災教育	・ 防災訓練、引渡し訓練、交通安全指導、メモリアルデー	B	○読書ボランティアの活用の充実	
	・ 健康教育・食育・体力づくり・運動遊び	・ 給食指導、新体力テストの分析活用、運動遊び、省TV	B	○発達段階にあわせた弁当の日の実施	
	・ 読書活動	・ チャレンジ50、ボランティアの活用、教師読聞かせ、読書タイム	B	○睡眠を確保するための生活点検 (わくわくひとりだち)	
	・ 食育・眼育	・ もりもり週間、食育の日 (噛むDay)、弁当の日、睡眠時間確保	B	○情報モラル研修の実施、SNS利用に関する情報提供	
・ 情報教育	・ ICT機器を活用した授業・情報モラル研修・SNS利用注意喚起	A			

※上記の評価の観点は市統一とするが、各校で特色ある活動・重点項目を追加してもよい。

※評価項目は各校の実態に応じて設定するが、外部評価者が理解しやすい具体的内容の記述に努める。

5 自己評価方法 (児童生徒・保護者・教員に対するアンケート等) についての意見・改善点

○職員による自己評価 ○オープンスクール、参観日での保護者感想 ○児童、保護者、職員によるアンケート
○学校評議員会での評価 ○学校教育推進委員会における協議を実施し、具体的な改善策を組織的に実施する。

6 総合的な外部評価

児童・保護者アンケート、参観日の感想、学校自己評価では、概ね、日高小学校の学校運営は良好であるといえる。いじめや問題行動の報告もあったが、今後も情報を広く集め、未然防止と早期対応を期待する。学校近くに新しくできた介護施設や隣接している日高高校との交流は特徴的でいい取組である。今後も継続していくことを望む。